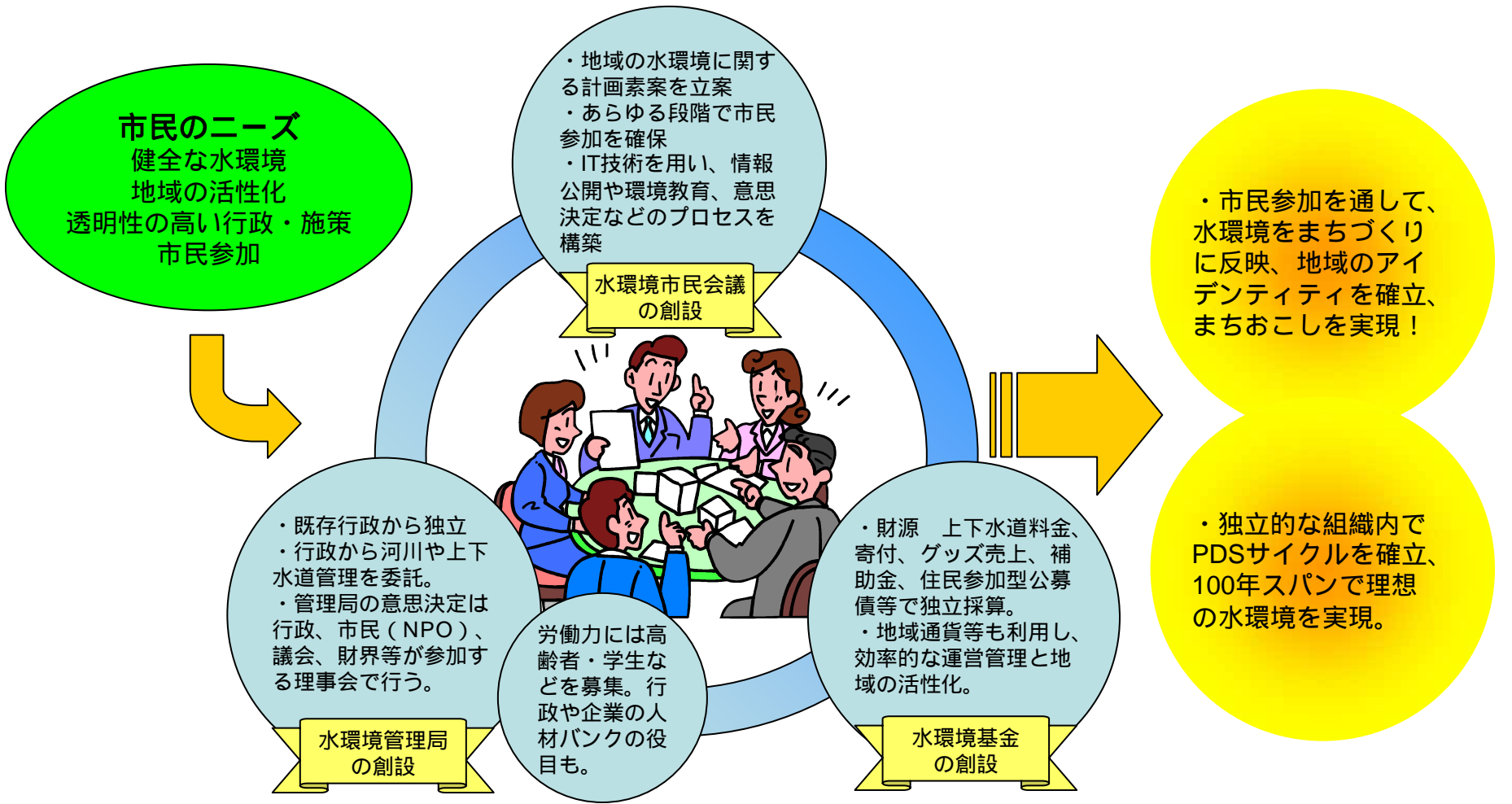
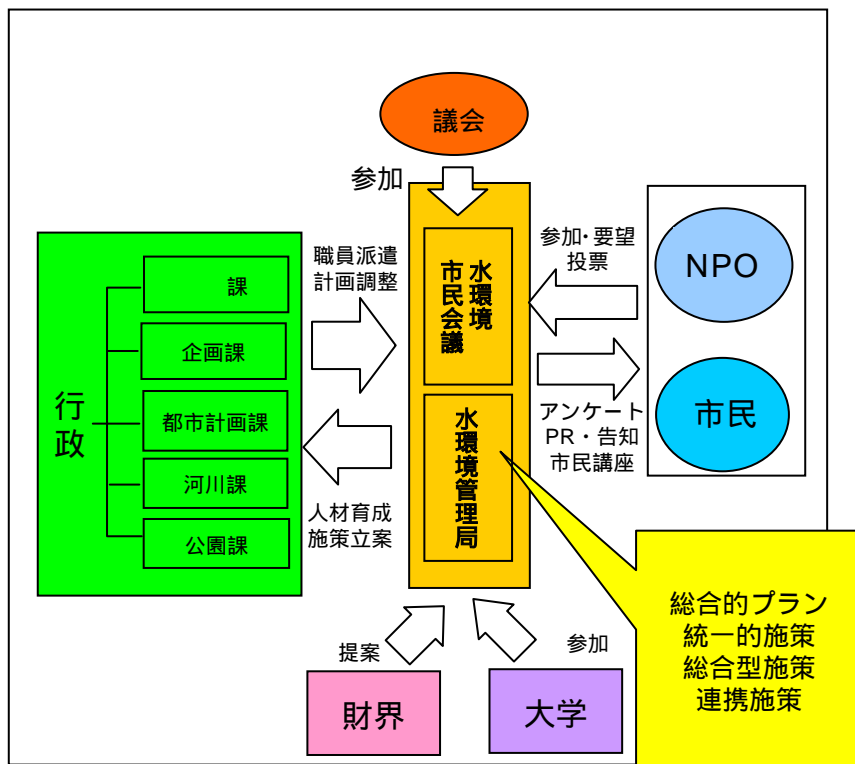


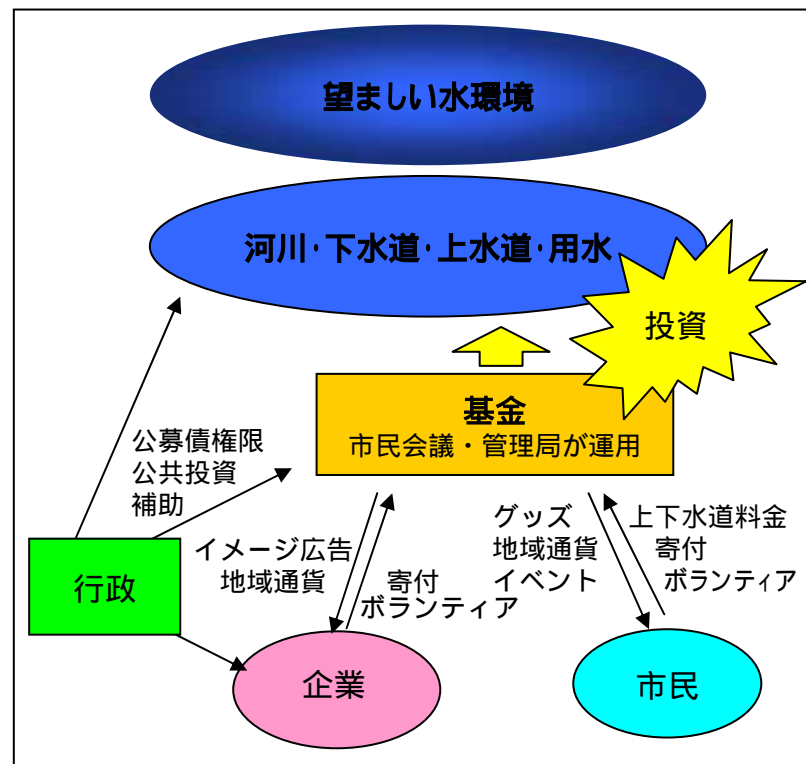
1. 提案の概要



1. 提案の概要

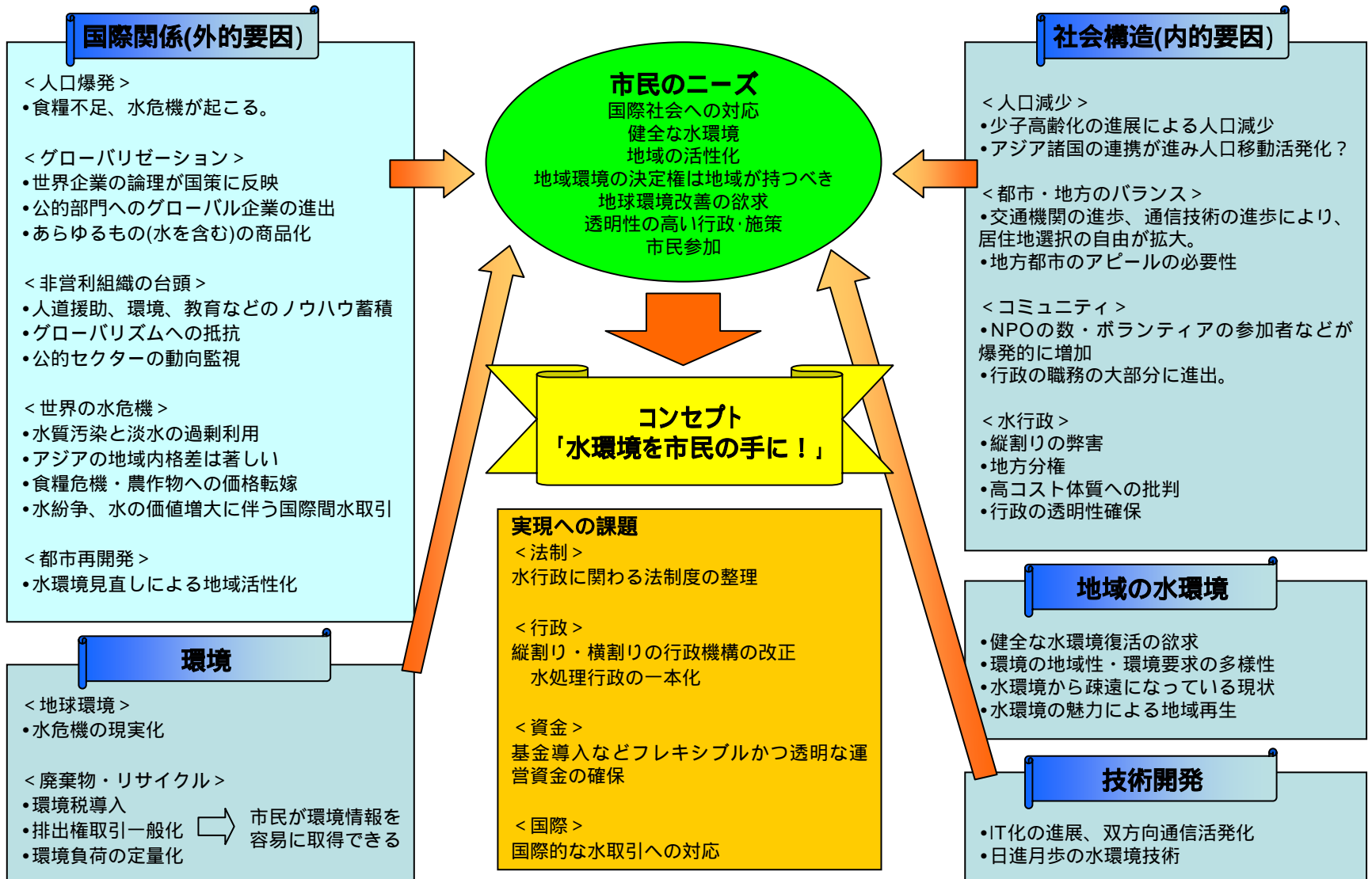


市民会議モデル図



基金モデル図

2. 提案の背景



3 . 提案の効果

- 水環境による地域アイデンティティの創出 市民参加により、当事者意識の高まりに期待。
- 下水道を含めた水環境行政の透明化・効率化
- 地域の水環境保護と参加意識の増大
- まちづくり・地域経営の観点から見た整備により、周辺経済が活性化
- 企業・行政・NPOなどが共存し、地域力の向上に繋がる
- 教育効果

4 . 実現のためのシナリオ

市民側

- ◆流域、ダムビジョン等様々な水環境市民参加型企画に横断的に関わる団体を中心に総合型水環境施策に関する検討会を設ける。
- ◆徹底した情報公開とPIを行う。
- ◆地域キーパーソンを発掘し、水環境のPRをしてもらう。

行政側

- ◆水環境、農業、まちづくり分野に関係する部局中心に総合型水環境施策に関する検討会を設ける。
- ◆共通する施策について積極的に協働でPRイベント等を開く。
- ◆市民・NPOとの協働を進める。

水環境に関するビジョン作りなどを通じて、水環境市民会議への足がかりを作る。

水環境市民会議設立

望ましい水環境管理・創造の組織形態・方法の議論

水環境管理局・水環境基金設立

100年スパンで
理想の水環境を
実現。



せせらぎを中心とした九谷・長瀬公園は地所住民の憩いの場として親しまれてい